

令和4年度 「学校評価」 取組み計画と結果考察

学校法人 松ヶ谷学園

ふたば幼稚園

園の教育活動や園運営について、目標とすべき課題を設定し、その達成状況等を話し合いながら自己評価をし、組織的且つ継続的な改善を図る。また、子どもたちの日々の活動に対して学校関係者による評価を受けると共に、評価結果を共有することにより、保護者や地域住民の方々の理解と協力を得て、幼稚園・家庭・地域の連携体制による幼稚園づくりを進めることを目的としています。

(I) 建学の精神

「梅檀はふたばより香ばし」

子どもたちの育ちには、幼児期（ふたばの時期）の環境が最も大切

(II) コンセプト

「ひとつ芽生えて またひとつ」

身の回りの事象に興味・関心をもつことが、次へのステップアップに最重要

(III) 教育目標

- ★ みんな仲良く（時には喧嘩も必要、そして相手を認めることの大切さを知ろう）
- ★ 強い心と体で（強い意志をもって行動することは強い体をつくること）
- ★ 最後までやりぬこう（途中で投げ出さず最後までやりぬき、完成の喜びを味わおう）

上記（I）～（III）を根底において、将来を担う子どもたちを教育することを目指しています。

(IV) 令和4年度 園の重点目標

★ 重点目標
☆ 何事にも自分でできることは自分です。

★ 学年別重点目標	達成するために取組むこと	結果
☆ 2歳児（つぼみ）		
・小さな経験を積み重ねていくことで、自信につながる。	・年齢より低い程度の簡単な内容の活動から取り入れ、少しずつ難易度を上げていった。	・年齢より低い程度の簡単なことから始めることによって、ほとんどの子ができる活動が多かった。中には発達段階に達していない子がいたり、できるのに簡単なことさえもやろうとしない子がいたため、個別に対応した。

☆ 年少組（うめ・もも）		
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付け、身の回りのことは自分で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服着脱やボタンの留め外しを個別に援助したり、出来たら褒めたりして自信に繋がった。 行儀良く食事をしたり苦手なものも食べられるよう言葉がけや援助をした。 活動に見通しがつくような言葉がけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの子ができるようになったが、衣服着脱がまだ一人で出来ない子が数人いるため、個別に指導を引き続き行いたい。 自分の食べられる量に調節することで、完食できた喜びに繋がり、苦手意識が減った。食事の姿勢については、今後も指導が必要である。 毎日の積み重ねで活動に見通しがつくようになり、進んで身の回りのことを行うようになった。
☆ 年中組（すみれ）		
<ul style="list-style-type: none"> 自分で出来ることを増やし、出来る喜びを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 失敗を恐れずにまずは自分で挑戦してみようという声掛けをし、挑戦してみる機会を作った。 できたことをたくさん褒め、できた喜びを味わえるようにすることで、さらにやってみようという気持ちになるよう配慮した。またできることが更に増やせるような経験を重ねた。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス全体にやってみようという前向きな気持ちもてるようにしたことで、友だちの姿に刺激され挑戦できるようになり、できることを増やすことができた。 様々な経験を積み重ね、できたことで自信が付き、積極的に活動に参加しようとする前向きな気持ちが持てるようになった。
☆ 年長組（ばら・ゆり）		
<ul style="list-style-type: none"> 興味を持って話を聞き、思ったことを自分の言葉で伝え、最後まで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが正しい姿勢になったことを確認し、保育者の話を最後までしっかりと聞けるように工夫をしながら話を進めた。 友だちとのトラブルでは一人ひとりの気持ちを汲み取りながら、本児自身が言葉で伝えられるように仲立ちをした。 3学期から導入されたKitsでは、活動を通して興味を持ち、最後まで取り組めるよう内容を考え展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> 話の途中で思ったことを口にしたり、その時には不必要な反応をする姿が多く見られたが、継続していくことで保育者の様子から自ら話を聞こうとしたり、周りの友だちにも知らせることができた。 その場で伝えられず泣き出す子や事後に伝えに来る子がいたが、少しずつ自分の思いをその時に伝えられるようになった。 新しい活動に興味を持ち、回数を重ねるごとに最後まで楽しく取り組む姿が見られた。活動の中で友だちと話し合ったり、自分の思いを全体の前で発表する経験ができた。

(V) 取り組みのステップ

①	今年度の重点目標・自己評価項目の設定	年度始め
②	重点目標・自己評価項目の達成に向けた取り組み	年度始め～3学期末
③	学校関係者評価委員との関わり	期中
④	自己評価の実施	12月末・3月末
⑤	学校関係者評価の実施	3月中旬
⑥	当該年度決算書と学校評価結果報告書の作成	4月下旬
⑦	事業の取組みと会計処理について公認会計士の監査を受ける	5月下旬
⑧	学校評価報告書をホームページにUPする	6月上旬

(VI) 教員の自己評価項目及び結果	評価結果とその項目数						
	項目数	5点	4点	3点	2点	1点	評価
1. 健康・安全を維持するためのチェック	30	9	6	15	0	0	C
2. 良き保育者となるためのチェック	22	4	15	4	0	0	B
3. 子どもへの適切な対応のチェック	20	7	11	3	0	0	B
4. 適切な環境の構成、計画性のある保育のためのチェック	24	0	2	16	5	2	C
(VI) 教員の自己評価項目及び結果	評価結果とその項目数						
	項目数	5点	4点	3点	2点	1点	評価
5. 保護者に伝えるためのチェック	19	3	2	13	2	0	C
6. 仲間や上司に伝えるためのチェック	23	4	6	10	4	0	C
7. 保育研究と研修への努力のためのチェック	21	2	4	12	4	0	C
8. 遊具や教材の研究、幼児理解の研修、自己研鑽のためのチェック	24	1	4	12	6	2	C
9. 保護者に信頼されるためのチェック	29	17	6	7	0	0	A
10. 仲間・上司に信頼されるためのチェック	37	12	18	8	0	0	B
	合計	59	74	100	21	4	

上記は、各項目に対する自己評価の結果を集計したものである。

各職員が年間2回の自己評価を通して職員同士の連携や資質向上、安全管理の強化や施設設備の充実などに真剣に取り組む、今年度の園として、また学年の重点目標の指導についてはおおむね達成できた。

自己評価の各項目の集計結果、十分でなかった点、特に評価の低かった項目については今後取り組むべき課題として継続的に行い、各課題をクリアできるよう努力していきたい。

財務状況： 監査法人の監査を受け、予算・事業ともに適正に実施されていると認められている

日常の保育についての学校関係者評価委員評価

評価者 1

◇アプリ導入について

れんらくアプリの導入時は戸惑いましたが、バス運行状況やおうちえんなどがみることができ、とても満足しています。

◇行事について

遠足やみかん狩り、園外保育など自然の中で季節が感じられる行事が充実していて、子どもが前向きに登園しようという意欲につながっていると思います。

◇自由参観やおうちえんなどで、園での様子を知ることができますがそれはほんのわずかだと感じています。担任しかわからない日々の出来事や些細なことでもいいので、先生の負担にならない程度で教えてもらえたら嬉しいです。

評価者 2

◇園生活について

毎日楽しんで登園しています。自由参観などで幼稚園の様子を見た時にも、周りの園児たちも生き生きと楽しそうに過ごしていることが良く伝わってきました。先生方が園児一人一人と真摯に向き合っていると感じました。

◇行事について

感染症も心配しましたが、運動会・フェスティバルなど無事に開催できてよかったです。今後もニュースで見るとような事故がなく、楽しく園生活が過ごせるようお願いします。

◇役員について

園の配慮により役員の負担が減ったことで今年までの状態で運営がスムーズになされているようであれば、今後の役員の負担を考えて、現状のまま運営を望みます。

評価者 3

◇アプリ導入について

おうちで日々の子どもたちの様子を配信していただき、見ていてとても楽しいです。

アプリ導入で、欠席連絡の電話が不要となりとても助かります。翌月の予定をもう少し早く、アプリで配信してほしいです。

◇園生活について

多くの方の目で子どもを見てくれるので、子どもの良いところや得意なことが見つけやすくなると思います。ただ、アピール上手な子、手のかかる子への声掛けが多くなり、偏りが見られました。他の子にも一言でも声掛けがあると、先生が見てくれていると子どもの自信につながると思います。また左利きへの矯正などについては、親の希望や始める時期など相談いただき、一緒に進めていきたいと思いました。

◇その他

他園では園バスの痛ましい事故がありましたが、幼稚園ではしっかりと人数確認をしてくれているので安心しています。